



島根県埋蔵文化財調査センター
TEL：0852-36-8608
江の川発掘調査事務所
TEL：050-5527-4088

島根県埋蔵文化財調査センターからのお知らせです。



島根県埋蔵文化財調査センターでは、江の川河川改修事業にともない、平成29年度から江津市内で発掘調査を行っています。本年度は昨年度に引き続き、松川町内での発掘調査を5月から開始しています。調査の様子は、この『中国太郎の発掘日記』を通じてお知らせします。皆様におかれましては、調査へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和4年度の調査

遺跡名：本田窯跡（ほんだかまあと）

所在地：江津市松川町太田

調査面積：約2400㎡

調査期間：令和4年5月から10月末（予定）

本田窯跡は江の川右岸に位置する石見焼の窯跡です。明治～昭和中期に、陶器や瓦を焼いた窯跡の一部とその作業場跡の調査を行っています。国道261号沿いに残る登り窯に気付いていた方も多いことでしょう。



発掘調査箇所位置図

国道沿いに残されている窯跡



渡津から国道261号線を川本方面に向かうと、煉瓦で造られた窯跡が残されています。一見すると7房程度が残っているように見えますが、実は、下部はすでに壊されており、国道の下まで続いていたようです。

この窯は丸物（甕・壺などの容器）用の窯ですが、改造されて瓦も生産したようです。

石見焼窯跡とその作業場の発掘調査

本田窯跡は江の川を目の前にした立地。この窯で作られた製品を、江の川を利用した舟運で出荷するには都合の良い場所で営まれていました。

発掘調査では、作業場の建物の他にも、水を使って焼物の材料となる陶土の不純物を取り去り、粒をそろえる水簸（すいひ）施設や、石垣のかわりに石見焼のハンド（大甕）に石を詰めて積み並べた窯垣などが見つっています。



江の川を目の前にした遺跡（下流方向をみる）



水簸施設（水にさらして焼物に使う粘土を精製する施設）



窯垣（石見焼の大甕を利用した土留め）

11月からの発掘調査

令和4年11月からは江津市松川町の千本崎城跡（せんぼんざきじょうあと）の発掘調査を開始します。千本崎城跡は、中世（約600年前）の山城とされる遺跡です。

現地調査は11月から12月中頃までの約2か月間を予定しています。



千本崎城跡の遠景（南、江の川の対岸から）

※おねがい※

調査中の遺跡は深く掘り下げた部分があり、大変危険です。事故防止のため調査区内に立ち入らないようにお願いします。

見学を希望される方は上記発掘調査事務所までご連絡ください。